

第 3 回委員会における主なご意見とその対応

No.	意見	対応
1	<p>計画案作成にあたり、民間開発の自由度を高めるため、ゾーニングは委員会としてこの場所にこの機能が欲しいという思いがある場所だけに絞るべき。</p> <p>また、ある程度、自由度を持った最終アウトプットにすべき。</p>	<p>アウトプットについては、土地利用イメージの一例を提示し、自由度を持たせるようにする。</p>
2	<p>明石は駐車場が無いことがネックになっているため、広いスペースを確保して、駐車場、土産物屋や食育ができる総合的なものができたらよい。</p>	<p>導入機能イメージの一つとして、「飲食施設や駐車場を兼ね備えた施設」を記載。</p> <p>特に、『大型観光バスの待機場として活用できるようにする』ことを記載。</p>
3	<p>再開発により、中心市街地、大蔵海岸などが、いかに潤っていくかが重要で、広いエリアで考えていくことも必要である。その一つとして、バスの駐車場が必要である。</p>	
4	<p>SWOT 分析の「弱み」の項目は、旅行会社の指摘と同じである。明石への観光客は、ほぼ日帰りであり、広域で連携しないと生きていけない。</p> <p>特に、観光バスの駐車場不足は大きな問題であり、たこフェリー跡地を駐車場として利用した際は、年間 700 台が利用していた。マンション建設により、大蔵海岸を利用するようになってからは、300 台程へ半減した。</p>	
5	<p>計画地には、海を生かして、魚関連の店舗に加え、囲碁将棋等、子供たちを育成していくための施設が欲しい。</p> <p>また、食育や、特色を生かすという観点で、人を生かす場を設けられたらと思う。</p>	
6	<p>土日だけ賑わい、平日は閑散とすることのないよう、観光客だけでなく、市民が平日や休日に利用できる、複合的な方向性を出して欲しい。</p>	<p>計画とりまとめにあたり、来訪者だけでなく、市民の利用にも配慮するよう検討を行う。</p>
7	<p>中崎における地域の要望と、市外からの来訪者を増やすという内面と外面の問題は両立させる必要がある。</p>	
8	<p>SWOT により、6つの方針を抽出しているが、これらは並列ではなく、どれを重視するのかの鍵となるため、何が重要なのかというストーリーづくりが必要。</p>	<p>SWOT 分析については、市域全体と計画地に分類して、再整理する。</p>
9	<p>SWOT 分析について、明石市全域 or 東外港地区、住民向け or 来訪者向け、需要 or 供給の視点から再整理すれば、どこに重みがあるか見えてくると思う。</p>	
10	<p>地域の大切な誇りである「明石らしさ」に基づき、こういうまちにしたいという都市ブランドを、この委員会とは別に体系化して議論する必要性がある。</p> <p>ブランディングについては、機能だけで人が集まるわけではないため、来訪者にどんな経験価値を持たせるのかが重要。そうすれば、主要なターゲットが見えてきて、それに合わせた具体的な施策というものが出てくると考える。</p>	<p>明石らしさを基本理念として位置付け、計画地の賑わいの創出方を検討していく。</p>